

シマノ創立90周年記念事業 マダイ稚魚を放流

4府県に合計25万尾

神奈川では小網代港沖等に10万尾を

（神シマノ）島野啓三社長は、創立90周年記念事業の一環として、8月中旬に全国4府県（神奈川、大阪、山口、熊本）において、マダイ稚魚合計25万尾を放流した。

去る8月11日には、神奈川県三浦市三崎町城ヶ

島養老子にある神奈川県の栽培漁業協会を会場に、稚魚放流セレモニーが挙行され、同社の島野啓三取締役役員事業部長、安東正幸販売促進部次長はじめ社員諸氏、インストラクターの高橋哲也氏、永浜いりや氏、タレント

の流川ミサ氏が出席、神奈川県栽培漁業協会からは後藤勇理事長、今井利為専務理事が出席した。

午前11時15分からセレモニーは始められ、まず島野啓三取締役が主要次

の流川ミサ氏が出席、神奈川県栽培漁業協会からは後藤勇理事長、今井利為専務理事が出席した。

午前11時15分からセレモニーは始められ、まず島野啓三取締役が主要次

とを祈ってマダイ稚魚10万尾を放流する。当社は100周年、200周年経つても人と自然の触れあいを通じて新しい価値を生み、健康と喜びに貢献してまいります。その後、島野取締役から後藤理事長へ目録贈呈、後藤理事長からは感謝状が贈呈された。御礼の挨拶に立った後藤理事長は、「シマノ社には長年に亘りマダイ放流に多額の寄付を頂いている。神奈川

SHIMANO 稚魚放流



島野啓三シマノ取締役命より神奈川県栽培漁業協会の後藤勇理事長にマダイ協力金の目録を贈呈



三浦半島の小網代から出船して島野取締役や同社インストラクターらがマダイ稚魚を放流

県のマダイ100万尾放流はシマノ社のお陰だと思っている。これからも100万尾放流を維持してゆきたい」と語った。

次いで、今井専務理事がマダイ栽培漁業の現状と課題で講演した。その中で、同専務は「今年度から補助金がゼロとなった。100万尾放流を維持するには2400〜2600万円かかるが、マダイ協力金は2001年に1200万円だったものが、2010年には600万円以下になっている。協力金制度の再構築

とを祈ってマダイ稚魚10万尾を放流する。当社は100周年、200周年経つても人と自然の触れあいを通じて新しい価値を生み、健康と喜びに貢献してまいります。その後、島野取締役から後藤理事長へ目録贈呈、後藤理事長からは感謝状が贈呈された。御礼の挨拶に立った後藤理事長は、「シマノ社には長年に亘りマダイ放流に多額の寄付を頂いている。神奈川

いった。